

問題 助かる！使える！解決集にするには？

この単元と関連した領域の付いている力(◆)
 ◆書くこと
 第5学年及び第6学年
 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
 中学校第1学年
 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。
 ◆読むこと
 第5学年及び第6学年
 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
 中学校第1学年
 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。

本単元の目標

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

単元終了時のめざす生徒の姿

- ・課題意識を持って読んでもらうために表やグラフが根拠となるよう関連付けて示すことができる。
- ・解決方法を具体的に示すために必要な情報は何かを検討し、示すことができる。
- ・集めて整理した情報と説明したいことを関連付けて自分の考えを明確に表現することができる。

思考力・判断力・表現力等

書くこと(エ)
 読み手の立場に立って、表現の効果を確かめて、文章を整えること。
 読むこと(ウ)
 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。

知識及び技能

(2)情報の扱い方に関する事項
 ア意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。

この単元からつながっている領域の力(◆)

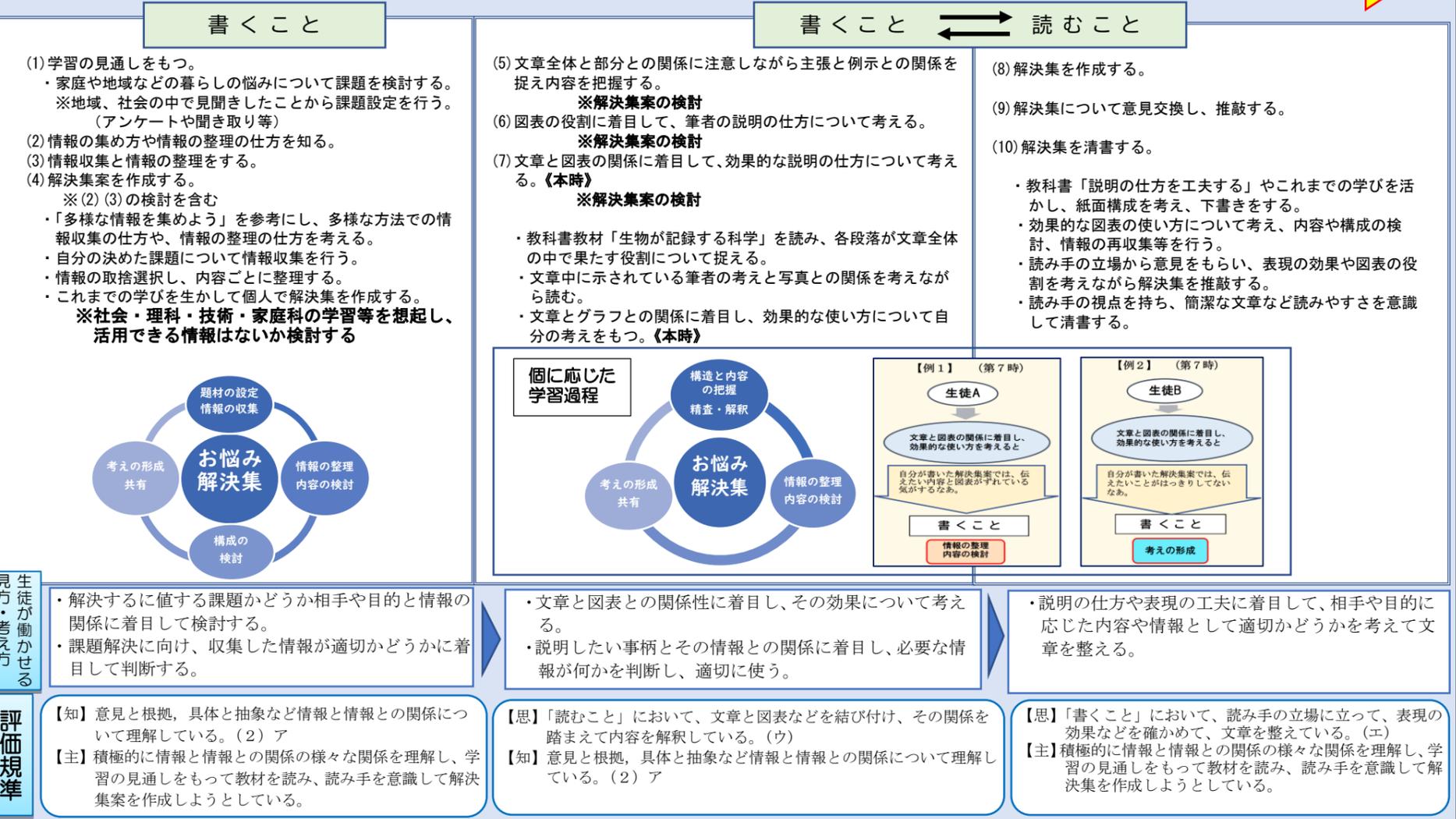
◆書くこと
 中学校第3学年
 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。(エ)
 ◆読むこと
 中学校第3学年
 文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えること。(イ)

他教科との関連

- 【理科】電気やエネルギー、物質に関する学習
- 【社会】資料やグラフの活用の仕方
- 【技術科】木材の性質と加工やプラスチックと金属の性質についての学習
- 【家庭科】消費者生活についての学習

言語活動 「『あなたのお悩みズバリ！解決いたします』暮らしに役立つお悩み解決集を作ろう」

基本の学習過程



生徒の実態と指導観

今年度5月に行われた標準学力調査の自校分析の結果では、「書くこと」の領域の正答率は81.6%(無解答6.1%)と、書くこと自体に苦手意識を持っている生徒は少ない。しかし、2つ以上の資料を比較して読み取り書くことの問題の正答率は77.6%ということから、情報と情報を結び付けて整理する力には課題が残っている。また、「読むこと」の領域では、複数の資料の説明を読み、自分の考えを意図に沿って書くこと、正答率が58.2%ということから、複数の情報を関連付けて内容を解釈する力や書くことに生かす力が弱いと考えられる。

以上の実態から本単元では、文章と図表との関係に着目させ、意見と根拠との関係及び判断や考えを示す意見を裏付けるための適切な根拠の在り方について考えさせたい。学習過程を工夫することで情報と情報との関係について理解し、表現の効果を考え、相手や目的に応じて説明する文章を書く力を付けたい。そのために「『あなたのお悩みズバリ！解決いたします』暮らしに役立つお悩み解決集を作ろう」という言語活動を設定することとした。この言語活動を通して、教科書教材を複数活用し「書くこと」と「読むこと」を行き来させながら、内容や構成、情報と情報の関係に着目させ、表現する力の育成を図る。

単元末に目指す生徒の言語活動例

栄養バランスの取れた食事をするために！～一人暮らしの高齢者の方へ～

はじめに
 皆さんの健康で楽しい生活を長く送るために、大切な、必要だと思うことは何でしょうか？毎日の運動、趣味を持つこと、友達との会話などいろいろあると思います。今回は、その中でも高齢者が特に大切に感じている食事についてのお悩みを解決していきたいです。

●バランスの取れた食生活ができていますか？
 【図表1】を見ると、高齢者の4割は健康的な生活を送るために食事が大切だと感じています。65歳以上の高齢者(20名)に普段の食生活は健康的なバランスがとれているかどうかを調べたところ、家族と同居している高齢者が約「健康的なバランスがとれている」と感じているのに対し、一人暮らしの高齢者は約5割に落ちました。

【図表2】
 また、一人暮らしの高齢者は、家族と同居している高齢者よりも健康的な食生活で不足していると感じている栄養素が多いことが分かります【図2】。特に多いのは、タンパク質(食物繊維)【緑】(わりりん)【オレンジ】などである。栄養バランスが取れていないと感じている高齢者は多く、その理由【図表3】の状況は「作るのが面倒だから」「メニューを考えたいが大変だから」「ひとりで暮らす」「家族と同居」などである。これらを解消し、バランスの取れた食生活を送るには、どうすればよいでしょうか。

●お弁当宅配・移動販売サービスを知っていますか？
 四万十市には、お弁当宅配、移動販売を行ってくれるサービスが充実しています。このサービスは、「四万十市社会福祉協議会」を始め、「生活協同組合」配業者などが行っています。各販売元によって対象者が異なったり、条件が異なります。また、個別によってメニューの自由度も異なり、お弁当宅配、移動販売サービスを提供していますので、是非ご家庭に必ずご利用ください。

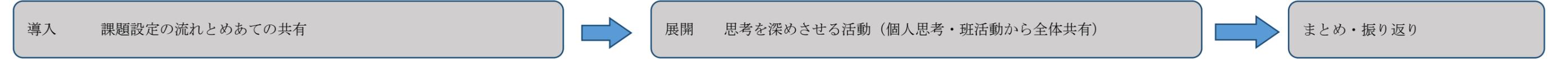
●終わりに
 少しでも人生を長くより楽しく生活するためには、まず栄養のバランスを一日3食しっかりと食べることが大切です。宅配サービスを利用することもできます。一人暮らしで、毎朝一人分作るのが大変だったり、異とに不便があったり、また体が不自由だったりする人にとって、これは大変便利ではないでしょうか。困ったときは是非利用してはどうでしょうか。

解決方法を具体的に示すために必要な情報は何かを検討し、示している。どこまでの情報と自分の伝えたいことを関連付けて考えを示している。

【本時の目標】 文章と図表との関係に着目し、効果的な使い方について自分の考えをもつことができる。（7/10）

【本時における言葉による見方・考え方】 文章と図表の組み合わせやその関係性に着目して、筆者の意図を考えたり、もっとふさわしい図表の使い方はないかを考えたりすることで効果的な使い方について考える。

<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことと図表にズレがないよう、集めた情報をもう一度検討する。 ・ふさわしいデータが集まっていないので、もう一度集めたい。 ・伝えたいことが読み手に分かりやすいかどうかもう一度自分の考えをまとめ直したい。 	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の説明したいことは何かを明確にし、自分の考えの根拠になっているかを考えて図やグラフを使う。 ・説明を具体的に伝えるためにふさわしいデータや数値を図表で示す。 ・示す内容によってふさわしいグラフを検討して使う。 	<p>例</p> <p>棒グラフを見る 水が浅いことが分かる 「ほとんど」と「ほとんどの」の割合がどのくらいか分かりにくい</p>	<p>例</p> <p>・載せられた最高記録と平均的数値を調べるために、両方のデータを比較する必要がある。 ・「ほとんど」と「ほとんどの」の割合がどのくらいか分かりにくい</p>	<p>【筆者のグラフの示し方】</p> <p>文章とグラフとの関係に着目して考えよう。</p> <p>めあて 説明文で図表を効果的に使うには？</p> <p>筆者の工夫 ・問い↓検証↓事実↓推論↓結論 ・構成の工夫 ・図表を多く使っている【表現の工夫】 ・具体的な数値が示されている【「」】</p> <p>図表と文章の関係性 ・伝えたいことが適切に伝わる ・読み手にとって分かりやすい ・伝えたいことの根拠になっている</p> <p>問題「助かる！使える！解決集にするには？」 「あなたのお悩みズバリ！解決いたします」暮らしに役立つお悩み解決集を作ろう！</p>	<p>◎深い学びの実現に向けた「問題」と「めあて」の工夫 本単元は、最終ゴールとして、「情報と情報との関係について理解し、表現の効果を考え、相手や目的に応じて説明する文章を書く力」を身に付けさせたいと考えている。そこで、設定した言語活動を通して課題解決するための問題を「助かる！使える！解決集にするには？」とした。また、その問題を解決するために、本教材を「読むこと」を通して、筆者の説明の仕方に着目させ、課題解決に必要な効果的な表現の仕方について考えさせたいと考え、本時のめあてを「説明文で図表を効果的に使うには？」とした。</p> <p>◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て 分かりやすく説明するためには、文章にどのような図表を組み合わせると効果的なのかを考える必要がある。実際に説明的な文章を読むことを通して、筆者の文章と図表の組み合わせやその関係性に着目して、筆者の意図を考えたり、もっとふさわしい図表の使い方はないかを考えたりすることで効果的に使うとはどういうことなのかを考え、自分自身の課題解決のために活用することができるようにする。</p>
--	---	--	--	---	---



T: 「生物が記録する科学」で筆者が説明したいことを伝えるために工夫している点はどんな点でしたか。

S1: 問い（疑問）とその問いに対しての検証、事実を示すことを繰り返しながら説明が進められていました。

S2: 図表をたくさん使っていました。

S3: 筆者が説明したい内容によって、写真やグラフが使われているので分かりやすい説明文になっていると思います。

S4: データなどの具体的な数値が示されながら説明されています。

T: 前時の学習でみなさんは、自分の解決集案にどんな修正を加えましたか？

S1: ぼくは、自分が説明したいことに合った図表が示せていなかったもので、どんな図表がいいか考えて示そうと考えました。

S2: 私は、自分の考えを伝えるための順序（構成）を変えようと考えました。

T: みなさんは、どんな解決集を作りたいのですか？

S3: 「助かる、使える」と思ってもらえるような解決集です。

T: そのために使う図表は文章と関係があればどんなものでもいいの？

S3: 伝えたいことが適切に伝わる内容の図表にする必要があると思います。

S4: 図表があることで、読み手がより分かりやすいと思えるものにはないといけないと思います。

T: なるほど、では分かりやすいとは具体的にどういうことだろうね？

T: 筆者の図表の使い方は分かりやすいと言えるかな？

S1: 数値だけ書いて説明するよりグラフや表があった方が分かりやすいので、筆者の説明の仕方は分かりやすいと思うけど。

S2: 筆者が伝えたいことを具体的に示しているのが図表なので分かりやすいと言えます。

S3: ペンギンの背中に付けたカメラで撮影された映像は不鮮明で分かりづらかったよね。もっと見やすい写真を使うべきだと思ったよ。

S3: 前の学習で、情報は伝える側によって編集されているから読み手が判断しないといけない、ということ学んだよ。本当に正しい情報なのかどうかを考えることも必要だと思う。

S4: そうだね、筆者の伝えたいことの根拠となっているかどうかを考えることが必要だね。

T: では、どんなことに着目すれば、必要か必要ではないか、分かりやすくなっているかどうか分かるでしょうか？

S: 読む人が誤解したりしないかどうかについても考えるといいと思う。

S2: 筆者が伝えたいことを伝えるための編集になっているからってことだね。

T: 筆者が伝えたいことはどんなことだった？

S: ペンギンが効率よく餌を捕ることを重要視しているということ。

T: では、みんなが解決集を作る時にも大事な視点になる、グラフが本当に筆者の説明したいことに効果のあるものになっているかどうかを確かめ、効果的に示すとはどういうことかを考えていきましょう。

T: 考えるためには、どこに着目したらいいのかな？

S: そのグラフが何を説明したいと思って使っているかを文章と合わせて考えてみるといいと思います。

【めあて】
説明文で図表を効果的に使うには？
文章と図表との関係に着目して考えよう。

T: 筆者が伝えたいことと、示しているグラフの関係性について個人で考えたことを出し合いながら、班で筆者のグラフの示し方について話し合おう。

《班活動》

話し合い活動例1

S1: 図1のグラフは、ペンギンの潜水のほとんどが100メートルより浅いことが分かったことを表しているよね。

S2: そうだね、棒グラフを見ると、25メートルまでの潜水が多いことは一目で分かるね。

S3: でも、いくつかの潜水400メートルを超えているってことや、ほとんどの潜水が百メートルより浅いってことが、どの程度の割合なのかは、この棒グラフでは分かりにくい気がするけど。

T: 割合を示すならどんなグラフがいい？

S4: 割合の時は、円グラフの方が分かりやすいと思う。

S3: 確かに円グラフだったら2万回の割合が分かりやすいし、ほとんどっていうのがどの程度か分かりやすいよね。

T: では、なぜ筆者は棒グラフを使ったんだろうね？棒グラフを使った筆者の意図って何だろう？

S2: うーん、なぜだろう？

S3: このグラフには最高記録も載せているから、筆者は二つのことを示すために棒グラフにしたんじゃないかな？

S4: 確かに次の文章を見ると「最大能力に比べ、浅く、短い潜水ばかりなのはなぜだろう？」という問いかけになっているね。

話し合い活動例2

S1: 筆者はなぜ、棒グラフにしたのかな？

S2: それは、ほとんどのペンギンの潜水が100メートルより浅いってことを示したかったからじゃない？

S3: 潜水時間にしても、ほとんどの潜水が6分以内で終了しているってことを示したかったんだと思う。

T: そのデータはどれくらいの数のペンギンで調べたのかな？

S4: 10羽だね。10羽のペンギンの数って少なくない？たった10羽のデータでそれが正しいデータといえるのかな？

S3: そこに筆者の編集の考え方があるのかもしれないね。

T: 班で出た考えを全体で発表しましょう。

《ホワイトボードで全体共有》

T: 先生はグラフ作成過程でこんなことを考えました。

T: では、今の話し合いや発表から、伝えたいことを分かりやすく効果的に説明するためにはどんなことが大事だと考えましたか？個人でまとめましょう。

T: まとめを発表してください。

S1: 自分の説明したいことは何かを明確にして、自分の考えの根拠になっているかどうかを考えてグラフを使うことが大事だと感じました。

S2: 自分の説明をより具体的に伝えるためには、ふさわしいデータや数値を考え、それに合わせたグラフや図表などにすることが大事だと感じました。

T: では、自分が書いた解決集案に今日学んだことを生かすとしたら、どのようなことが生かせるか検討し、修正案を書き加えましょう。【書くことへ】

T: どのようなことを書き加えましたか。【振り返り】

S1: 伝えたいことと図表にズレがあるので、集めた情報からもう一度より良い図表は何かを考えることにしました。（内容の検討）

S2: 私の情報量では説得力にかけるので、もう一度情報を集める必要があると感じました。（情報の再収集）

S3: まずは、自分が伝えたいことは何かをもっと明確にしておかないと、図表が必要かどうか分からないので、最後の自分の考えをもう一度検討したい。（考えの形成）

<指導上の留意点>
めあてが引き出せるよう、前時までに学習してきた筆者の説明の仕方と文章と図表との関係性から、効果的に示すとはどういうことか、という疑問を持たせるようにする。

<指導上の留意点>
個人思考ができるよう、課題と課題解決に向けた着目すべき点を明確にしておく。

<指導上の留意点>
話し合いが深まるよう、適宜個人の思考に疑問を投げかけながら協議させる。

<指導上の留意点>
自分が書いた解決集案に活用できそうなことが振り返れるようなまとめをさせる。

評価規準

【思・判・表】「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。